

「虫垂炎手術の腹水細菌培養検査の検討」について

加古川中央市民病院小児外科では、現在、当院で虫垂切除術施行時に腹水培養検査を行った患者さんを対象に下記の研究を実施しております。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

小児虫垂炎の治療は、虫垂切除とともに起因菌に対する抗生剤治療が合併症の発生を予防するためには重要です。起因菌としてどのような細菌が検出されるか調べることは、抗生剤の選択や耐性菌の出現を把握することにつながります。

そこで、当院における小児虫垂炎手術の腹水細菌培養検査の検討を行い、検出される細菌の種類や頻度、耐性菌などについて検討し、今後の虫垂炎治療に役立てます。

【研究期間】

この研究は、病院長承認日 ～ 2024年 3月 31日まで行う予定です。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2009年～2023年に当院で施行した虫垂切除時に腹水培養検査を行った患者さんの診療録より、下記の情報を取得いたします。

- ① 基本情報：年齢、性別、合併症
- ② 疾患情報：穿孔性虫垂炎/非穿孔性虫垂炎、抗生剤の内容
- ③ データ収集の時期と内容：術中腹水細菌培養検査、細菌の種類、抗生剤感受性など

【個人情報保護の方法】

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、個人情報とは無関係の番号を付して、研究対象者識別番号リストを作成して、匿名化を行い秘密保護に十分配慮します。

研究成果を報告する際にも、個人が識別されないように配慮します。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 小児外科 安福 正男

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特に不利益になるようなことはありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に

保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究参加辞退または同意撤回の申し出があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定できる情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降には患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消された時点ですでに研究成果が論文などで公表されている場合は廃棄できません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 小児外科
研究責任者名 安福 正男
連絡先：079-451-5500